

サラ 脱 起 業

ここがポイント

木村俊治
公認会計士・税理士

誤解を恐れずに類の書き方です。日本政策金融公庫に提出する書類に「創業計画書」があります。創業計画書の書き方を間違えると借りのに時間がかかってしまいます。書き方というのは、私は借りたお金を返せる事業をしていますということを説明することです。日本政策金融公庫は借りられる条件さえ満たしていれば貸したいのですが、この書類の書き方を誤ると、借りるまでに時間がかかり、また、何度説明しても借り手が必要な書類を書けないように感じることができないこともありません。

起業にあたり、重要なものがお金です。最初の設備関係の購入から事業運営の資金・経費など、いろいろお金

が必要になってきます。た

めていたお金だけでは足りない場合、お金を借りてくる必要が出てきます。

知人や親から借

りるケースもあります。多くの場合は金融機関から借りていることが多いかと思えます。

資金調達には

想像以上に簡単です

よくない例

政策金融公庫にすることです。金融機関という都市銀行を思い浮かべるでしょうが、起業時に借るのは難しいのが実情です。その他の地方銀行、信用金庫も借りられないとはいきませんが、借りやすいという点から、日本政策金融公庫がお勧めです。日本政策金融公庫は政府系の金融機関であり、国の政策として起業を増やしたいという意思を反映させており、条件さえあれば貸そうというスタンスがあります。厳しい条件があるのかというと、基本的には自己資金があること、税金を滞納していないこと、カード事故を起こしていないことです。この条件を満たし、事業がいわゆる公序良俗に反しないものであれば、借りられる可能性は高いのです。次は、借りのときの書類の書き方です。日本政策金融公庫に提出する書類に「創業計画書」があります。創業計画書の書き方を間違えると借りのに時間がかかってしまいます。書き方というのは、私は借りたお金を返せる事業をしていますということを説明することです。日本政策金融公庫は借りられる条件さえ満たしていれば貸したいのですが、この書類の書き方を誤ると、借りるまでに時間がかかり、また、何度説明しても借り手が必要な書類を書けないように感じることができないこともありません。

次は、借りのときの書

(隔週掲載)